

一人でも行けて
楽しいお店、
早急に
作りたいです！

夕方マルシェや
アフター5
のような楽しみが
増える場所



理想の1日を聞
いて、「イイね！」
と感じた内容に
一人ずつコメント
を書いてペタリ！

皆さんが描いた
理想の1日は、
大きなイベントや
特別な施設では
ありませんでした。

愛犬と散歩して、
ファーマーズ
マーケットへ
行きたい！

川沿いで
気軽に
飲みたい！

笑顔が集まる、
お話できる、
気軽なスペース
つくって！

気軽に、心地よく、それぞれのペースで
関わりたい姿が見えてきました。

目指す姿を分解する

圧倒的

= 関わる人がどんどん増えていく
(圧倒的な関係人口)

ホームタウン

= 自分の居場所だと思えるまち
(関わりたいと思える場所)

point 2

このまちは 自分らしく立てる「舞台」

これらの結果を受けて、第二章では、このまちを「舞台」と見立て、自分らしく関わることを「舞台に立つ」と表現しました。挑戦する人も、ふらっと立ち寄る人も、誰かを応援する人も、それぞれの関わりがこの舞台をつくっていきます。

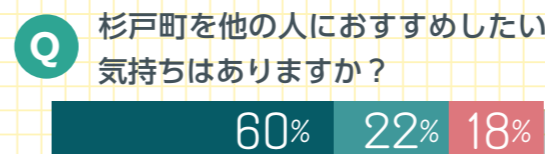
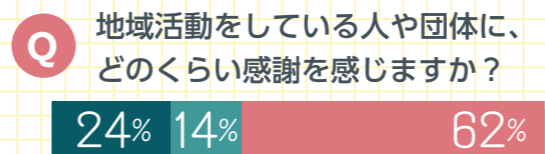
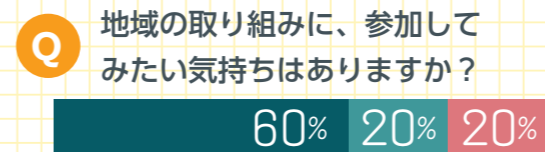
point 1

まちへの思いを知る アンケート&未来トーク

多くの活動が生まれ、広がりが見えてきました。これからのまちづくりを考えるため、まずは東口通り線周辺の住民2,000人へのアンケートと未来トークイベントで、声を集めました！その一部をご紹介します。

率直な気持ちを11段階評価で答えてもらいました

← 低い (0~5) (8~10) 高い →
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



【2025年度実施：回答率 23.3% (465人 / 2,000人)】

中身を詳しく教えて！

誰もが自分らしく立てる舞台

圧倒的 ホームタウン

第二章

「参加したい」「すすめたい」は低め。でも、感謝の気持ちは約3倍も！つまり、ありがとうはあるけど、まだ 関わりは少ない ことだね。



未来トークでは、多様なパネラーが東口通り線を舞台に活動や思いを語り、後半は理想の一日を描くワークで大いに盛り上がりました。

さらに詳しい中身は
こちらから



杉戸町役場でも配布中

「こんな身近なことでもいいの？」と思う内容もあったかもしれません。目指すのは、気軽に关わる場を増やし、「ありがとう」が広がる日常をみんなで育てること。つくって終わりではなく、育て続けるまちへ——その広がり、皆さんと共に目指します。

ふらっと立ち寄る人

利用者

Visit



表舞台だけじゃない

広場などでのんびり過ごしたい

▶ 活動する人もくつろぐ人も出演者
例) 川辺でランチ / 屋台で一杯 / 気ままに散歩 など

ちょっとやってみる人

挑戦者

Try



気軽に立てる舞台

やりたいことで、気軽に店出したい

▶ 無理しなくても立てる舞台
例) 屋台店出 / シェアキッチン利用 / イベント主催など

応援する人

サポーター

Support



応援席も舞台

その場を訪れたり、商品を購入して応援したい

▶ 共感や感謝の思いが舞台を輝かす
例) 友人を誘う / おすすめする / 参加する / 手伝う / 会いに行くなど

point 3

「舞台に立つ」って どうするの？

この舞台は、何かをしなければならぬ場所ではありません。このまちに関心を持つ一人ひとりが風景をつくっていきます。

ここでは、「自分らしい関わり方」の一例をご紹介します。「これなら自分もできそう」と思えるヒントになればうれしいです。